

Weekly Report

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club 2017-2018

会長 田中 雅貴 副会長 林 美喜枝
幹事 原田 哲 副幹事 田中 雅承
会計 笹本 哲翁 会報 小池 章治

事務所 〒409-3812 山梨県中央市乙黒158-2
(山梨ビジネスパーク(株)カルク 内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

【例会日】 毎週金曜日 12:30~13:30
【例会場】 (株)カルク (055-273-5344)

Rotary 



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018 R.I会長
イアン H.S. ライズリー
第2620地区ガバナー 松村 友吉

2017年 7月 28日 第1775回例会

本日のプログラム

「納涼親睦夜間例会」 於・新寿し

会長挨拶

「山梨の無尽・沖縄の模合」

会長 田中 雅貴

みなさんこんにちは。本日は第一回ガバナー補佐公式訪問ということで、齋藤 嗣樹ガバナー補佐と、事務局長の伊藤 廣邦会員がいらしています。また、メイキャップで甲府南RCの大木 勝志会員もいらしています。どうぞよろしくをお願いします。

さて、前回に引き続き沖縄の文化について、本日もお話しさせていただきたいと思います。

山梨では無尽という集まりがあります。みなさんも一つ二つ所属しているのではないのでしょうか。残念ながら私は今は一つも参加していません。

その一方で沖縄には模合(もあい)というものがあります。内容はほぼ無尽と同じで、月一回飲み会を開き、決まった金額を集めてメンバーの一人が総取りします。

最近では若い人たちがお酒を飲まなくなり、あまり無尽という言葉自体を聞かなくなりました。なら沖縄も同じかという、山梨より若い人たちがお酒を飲むので、むしろ若い人たち

の方が模合をよく行っています。特に中部から北部の田舎の地域では活発なようです。

無尽と大きく違うのは、沖縄では模合で取るお金が家計に組み入れられていることです。

ですので、たとえ台風がこようが模合金は期日までに届けなければなりません。なぜならすでにそのお金をあてにしている人がいるからです。(車検代、保険代、etc...) そのため、すっぱかしたりすると信用を失います。

沖縄で模合に入るのは相当の覚悟がいります。すごい人になるといくつも模合に入り、どこかの模合で取ったお金で他の模合金を払う、といった自転車操業的な人もいます。

また、内地の人が沖縄の模合に入れてもらうことは、地域に受け入れられたようにとらえられます。実際には十年単位で住まないとなかなか難しいのが現実です。

さて、数か月前の新聞に、金融の知識に疎い県として山梨と沖縄がかなり上位にあり、それは無尽や模合といったローカル金融制度があるからだとの解説があったように思います。案外、山梨と沖縄は似ている県なのかもしれません。

皆さんも沖縄を訪れた際は、観光だけでなく地域文化にも興味をもって現地の人と接してみてください。もしかしたら新しい発見があるかもしれません。

本日の会長挨拶は以上です。

幹事報告

幹事 原田 哲

1. 本日は、山梨第3分区齋藤ガバナー補佐の第1回目のクラブ訪問です。
卓話の時間に「ご挨拶」を頂きますので、宜しくお願ひ致します。
2. 次回7月28日(金)の例会は「納涼親睦夜間例会」となりますので、宜しくお願ひ致します。
例会時間は午後6時30分より「新寿し」において行います。
3. 7月22日(土)に会員増強・維持委員会が、静岡県男女共同参画センターに於いて行われます。
熱い中大変ですが、宜しくお願ひ致します。
4. 例会変更のお知らせ
なし

前回の例会記録

第1774回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	11名	0名	100%	3名	100%

届出欠席者 なし

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 田中 雅承君 竹野 満君
遠藤 一郎君

ビジター 山梨第3分区ガバナー補佐
韮崎RC 齋藤 嗣樹様
山梨第3分区ガバナー事務局長
韮崎RC 伊藤 廣邦様
甲府南RC 大木 勝志様

備考 なし

ニコニコBOX

- 1年間よろしくお願ひいたします。
韮崎RC 齋藤 嗣樹様
- 初めてお伺ひいたしました。
田中会員・遠藤会員とは日頃親しくさせていただいております。本日は宜しくお願ひいたします。
甲府南RC 大木 勝志様
- 齋藤 嗣樹ガバナー補佐、伊藤 廣邦ガバ

ナー事務局長、甲府南RCの大木 勝志様、ようこそおいで下さいました。
宜しくお願ひ致します。

田中 雅貴 樋貝 浩久
林 美喜枝 田中 雅承
遠藤 一郎 笹本 哲翁
石原 満彦 竹野 満
鮎川 一明 原田 哲

★ 紙上卓話 ★

『 まずは笑う (1) 』

山崎 洋子先生

『バベル』というハリウッド映画を観た。菊池凜子さんという日本人女優がアカデミー賞の助演女優賞候補になり、大きな話題をよんだ作品である。バベルは旧約聖書に出てくる町の名前だ。この町の人々は天まで届く塔を建設しようとした。神はその傲慢な行いに怒り、人間同士、言葉が通じないようにしてしまう。映画のストーリーはこのエピソードとなんの関係もないが、人と人の間に「言葉が通じない」、すなわち、「心が通じ合わない」という状態がテーマなので、このタイトルになったという。

モロッコ、アメリカ、メキシコ、日本を舞台に三つのドラマが描かれるのだが、主人公たちはいずれも絶望的な状況に陥っている。それも、どうしてこんなことになってしまったのか、という不条理な絶望だ。切なく哀しく、やりきれない。本来なら観ていてうんざりするところだが、ブラッド・ピットや菊池凜子など俳優たちの好演で、優れた映画に仕上がっている。

—「とりあえず今日は生きよう」—

人は愚かで哀しい。それでも愛したい、愛されたいと願ひ、生きようとあがく。みっともなくあがく。

私は観終えてから少し泣いた。それは主人公たちへの同情ではない。共感である。

(続く)

次回のプログラム 8月4日(金)

卓話 プログラム委員会